※令和４年度以降入学生用

学校番号	220

令和５年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新編　書道Ⅱ（教育出版）						
副教材等	美しく正しい字が書ける横書きペン字練習帳（新星出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

書道Ⅰで学習したことを基礎として、引き続き一人ひとりの個性を生かし、さらに伸ばしていくことを目標とします。練習する古典や語句などを選ぶ際、自分のめざす表現を明確にして、それをいかせる選択をしていきます。書道Ⅱの学習を通して、書を身近な存在として感じ自己表現としての書をめざしていくことを希望します。

２　学習の到達目標

（１）　書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。

（２）　書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。

（３）　主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための技能を身に付け、表している。	書の良さや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	漢字の書の学習	・隷書の基本的な用筆を理解する。 ・曹全碑の臨書	a:隷書の基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解し、創造的な表現を身につけている。 b:隷書の美しさについて関心を持ち、折帖作品に応じた全体の構成について構想して工夫している。 c:主体的に隷書の書の創造的な表現や鑑賞に取り組もうとしている。	作品	作品 ワークシート	授業ファイル 振り返り プリント
		・草書の特徴を理解する。 ・十七帖の鑑賞と臨書 ・少字数作品の創作	a:草書運筆の特徴を体感し、基本的な点画や用筆・運筆を学び身につけている。 b:制作の手順・方法を理解し自らの意図に基づき全体構成や表現を創意工夫している。 c:草書の造形美に関心を持ち、主体的に創意工夫して制作に取り組もうとしている。	作品	作品 ワークシート	授業ファイル 振り返り プリント
2学期	篆刻の学習	・篆書の用筆と運筆 ・四大字印の制作	a:創造的な表現をするために、押し刀・引き刀を正しく理解し、思いどおりに刻る技能を身につけている。 b:篆書の構築的な構造美を理解し、それを生かすための全体構成や意図に応じた表現を工夫し、美しさを味わって捉えている。 c:篆刻に対して関心をもち、主体的に各段階の作業に取り組もうとしている。	作品	作品 ワークシート	授業ファイル 振り返り プリント

※令和４年度以降入学生用

２学期	刻字の学習	・刻字の基礎 ・表札の制作	a:刻字に対しての関心をもち、各段階における技法を理解し、これを見につけ、創造的な表現に生かしている。 b:身のまわりの刻字作品についてそのよさや美しさを積極的に味わい、書体・書風・構成について工夫している。 c:構想から完成までの過程に主体的に取り組もうとしている。	作品	作品 ワークシート	授業ファイル 振り返り プリント
３学期	漢字仮名交じりの書の学習	・さまざまな漢字表現を理解する。 ・創作作品の制作	a:創造的な芸術表現をするために、用具・用材・線質・字体・全体構成などを考えた表現の技能を身につけている。 b:自らの表現意欲を高め、意図に基づいた作品を構想し、それぞれに適した表現を工夫している。 c:さまざまな表現にふれ、漢字仮名交じりの書に主体的に取り組もうとしている。	作品	作品 ワークシート	授業ファイル 振り返り プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度